

次世代リーダー養成プログラム

～次世代ビジネスに必要なリーダーシップを体得する短期集中プログラム～

Produced by

- ・ MUSASHi Innovation Lab CLUE
- ・ 株式会社bridge



本プログラムでは、不確実なプロジェクトを担う次世代リーダーに求められるスキルとマインドセットを集中的に学習します。

- ・ **次世代の事業を担う人材の能力に不安がある。**
- ・ **社内の人間関係やチームワークに不安がある。**
- ・ **新しいことに挑戦する風土・文化推進する人材がない。**
- ・ **既存のリーダーの求心力に不安を感じている。**



世の中の変化への対応を迫られる中で、従来の経営学、机上論だけでは突破できない現実に直面していませんか？

不確実な時代、次世代の事業を推進していくうえでの“プロジェクト”の概念が変化しています。そんな中、これからのリーダーに求められる資質も変わってきています。

これまでのプロジェクト

マネジメント（計画を管理する）

機能的な問題解決

ヒト（人工）・モノ・カネ・時間

モニタリング・コントロール

滞りなく確実に計画を達成する人
（マネジャー）

タスクの遂行者

思想

手法

リソース

実行

**リーダー
の存在**

**メンバー
の存在**

これからのプロジェクト

デザイン（意思を実現する）

創造的な問題解決

ヒト（才能）・モノ・カネ・時間・情報（社外）

問いの設定・ファシリテーション

高い志と情熱で組織を導く改革者
（チェンジエージェント）

多様な才能を持つクリエイター

本プログラムの狙い

自身がチーム、プロジェクトを任せられた時に、役割分担やタスク管理ベースではなく、チームが進むべきビジョン、ミッション、コアバリューを羅針盤にしながらリードしていく人材

＊前例のないプロジェクトをまかせられたリーダー

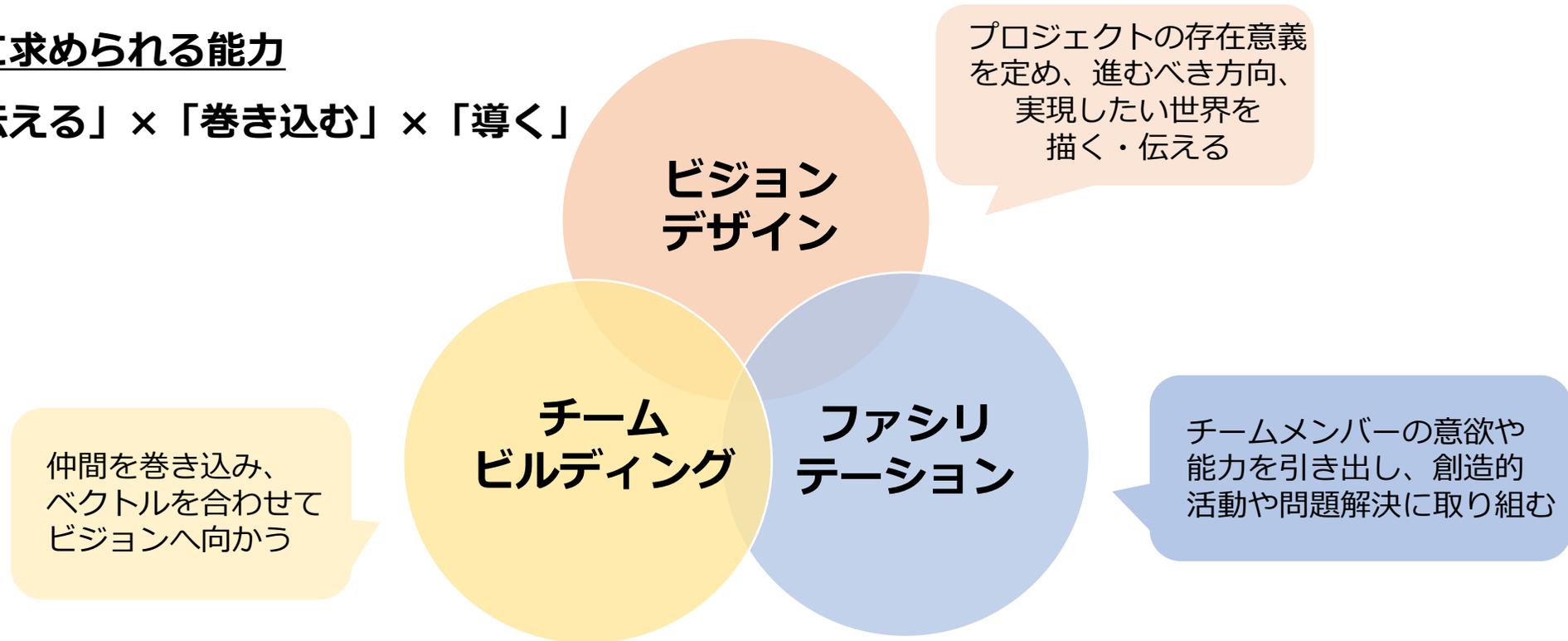
＊新規事業のリーダー

＊組織の変革を担う次世代リーダー

を、座学による形式知の学習、実践者からの実践知を学習するセッションを通して育成します。

リーダーに求められる能力

「描く・伝える」×「巻き込む」×「導く」



次世代リーダーに求められるメソッドを学び、 新たな価値創出や問題解決に向けて研鑽しあうプログラム

特徴

1. 講義や対話を通じて、不確実性の高い時代、リーダーに求められるスキル/マインドセットを学ぶ
2. テーマに関する有識者/先行者、各分野のエキスパートとの対話を通じて、リーダーシップを考える
3. 異業種の仲間との体験や課題の共有を通じて、繋がりを創り、会社を超えたネットワークを得る

成果物

1. これからの経営に求められるリーダーとしての思考のスキルセットとマインドチェンジ
2. 多様なメンバーからの視点でブラッシュアップされ、自社で実行可能なプロジェクトデザインスキル
3. プログラムの振り返りと今後の生かし方に関する各社個別面談で、派遣元企業への内製化をサポート
(プログラム修了後、各社40分程度のオンラインセッションをご提供します。)

主な 対象者 (例)

- * 前例のないプロジェクトをまかせられたリーダー
- * 新規事業のリーダー
- * 組織の変革を担う次世代リーダー
- * 次世代リーダーを育成したい企業経営者、管理職の方



次世代リーダーに求められる3つのスキルとマインドセットを集中的に学習することで、リーダー/リーダー候補者への行動変容を促します。



受講前



受講後

ビジョンデザイン

自社の存在意義を定め、
進むべき方向、
実現したい世界を描く・伝える

新たな活動、未経験の仕事に消極的で、他人任せ/他責なマインドが染み付いてしまっている。仕事への所有感が薄い。

会社への所属意識、仕事への所有感、会社のビジョンに対する強い所有感が醸成され、前向きかつ能動的に仕事ができるようになる。

チームビルディング

仲間を巻き込み、ベクトルを合わせて
ビジョンへ向かう

社内外の関係者との協力関係を円滑にしていくことに興味がない。自身の職務を超えて事業を活性化させていく必要性に無頓着。

自らリーダーシップを取り、強い求心力のもとに仲間を巻き込み、個々の強みを生かしたチームワークを促進できるようになる。

ファシリテーション

チームメンバーの意欲や能力を引き出し、創造的活動や問題解決に取り組む

受け身の姿勢が強く、自らリーダーシップを取って、新たなプロジェクトを前向きに牽引する気概が薄い。

先行き不確実な中、プロジェクトを正しくデザインし、新しい時代のビジネスを牽引できるようになる。



プログラム内容

講座内容（夜学2時間×4回開催）

講義・質疑応答/参加者ディスカッションの3部構成で実施します。なお、期間中2回、テーマに関する有識者/先行者を招いてのゲストセッションを実施します。

日程	カリキュラム	内容	ゴール
2/17(水) 18:30-21:00	Day-1-1 「オリエンテーション」 (ファシリテータ：鈴木郁斗)	本プログラムの全体像、ゴールを参加者全員に理解いただきます。また参加者同士の現状と課題、本プログラムへの期待を共有します。	・ゴール設定とプロセスの理解 ・参加メンバー同士のコミュニケーション促進
	Day1-2 「ゲストスピーカーセッション①」 (講師：土屋恵美)	ストレンクスファインダーの診断結果から、自身か持つ才能や得意・不得意か明確に理解し、才能の伸ばし方や発揮方法を得ることで、自分らしいリーダーシップの形を学習します。	自己を理解し、今後の組織でのリーダーとしてのあり方を定義する。
3/3(水) 18:30-21:00	Day-2 「ビジョンデザイン講座」 (講師：加来幸樹)	仕事に対するリーダー自身のモチベーションを見直し、自分/自社の存在意義、価値を再定義し、個人と組織の方向性を定める能力・考え方について学習します。	自分自身のビジョンの棚卸し、自社/プロジェクトのビジョン/ゴールを明文化する
3/16(火) 18:30-21:00	Day3-1 「チームビルディング講座」 (講師：鬼海翔)	社員個々の特性を理解し、適切な人員配置の方法、円滑な協力関係のもとにより健全な社風をもたらす方法、考え方について学習します。	仲間の巻き込み方、ベクトルを合わせて円滑なチームの人間関係を構築するノウハウを習得する
	Day3-2 「ゲストスピーカーセッション②」 (講師：伊作猛)	自己理解のもと、個性と多様性を活かした新規事業チームをレベルアップさせるには？国内外での新規事業チーム運営の経験を持つプロフェッショナルから学びます。	
3/29(月) 18:30-21:00	Day4-1 「プロジェクトファシリテーション講座」 (講師：鈴木郁斗)	チームの気づきや共感、創造性を高めるための仕掛けとファシリテーション手法、新たなチャレンジを鼓舞し、アイデアを実現させるロードマップの描き方、プロジェクト全体のデザイン手法について学習します。	適切な問題提起を起点に、問題解決に導くファシリテーションスキルを習得する。
	Day4-2 「ラップアップセッション」 (ファシリテータ：鈴木郁斗)	プログラムの振り返りを行い、今後の各所属組織への応用方法について考え、共有します。	学習したことを自社に応用するイメージを固め、方針を定める。
個別調整 (各社40分程度)	Day45 「企業毎個別メンタリング」 (メンター：bridge)	プログラム修了後、各社様ごとにプログラムの振り返りと今後の具体的な活かし方に関するメンタリングセッションを行います。	学習したことを自社の取り組みに具体的に生かすための対策を策定する。

※カリキュラム内容、講師は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

「ビジョンデザイン講座」

3/3(水) 18:30-21:00

個人理念とは

その「**個人**」のすべての活動や選択の動機・基準



自分との対話、ビジョンの再定義のプロセスを通して、企業やブランドとそこに属する個人それぞれの羅針盤(理念)の方向性の一致を認識し、動機化・実行されている理想の状態に導きます。

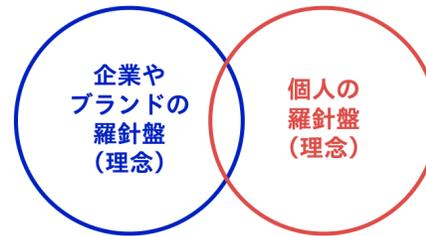
「覚悟」をデザインするための共創プロセス



表層的な **言葉** だけではなく
根幹となる **言幹** のような部分を
一緒に発見する過程にこそ
本当の意味があると考えてる

▼
表現すべき本質の発見

これからの企業と個人のあるべき関係性



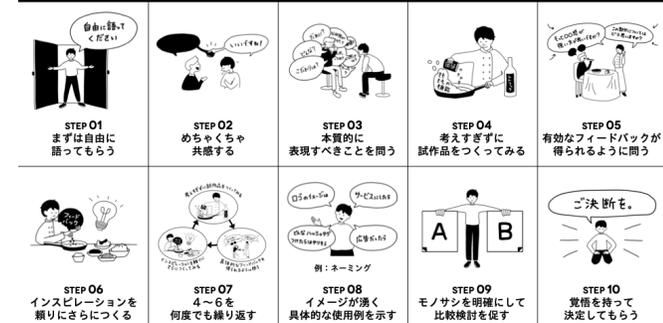
企業やブランドと、そこに属する個人それぞれの羅針盤(理念)の方向性の一致が認識され、動機化・実行されている状態が理想的

まずは、「**インスピレーション(ヒント)**」を
「**ビジュアル**」で「**発見**」する



そして、発見したヒントを元に、自分のコトバで語る

「覚悟」をデザインするための共創プロセス



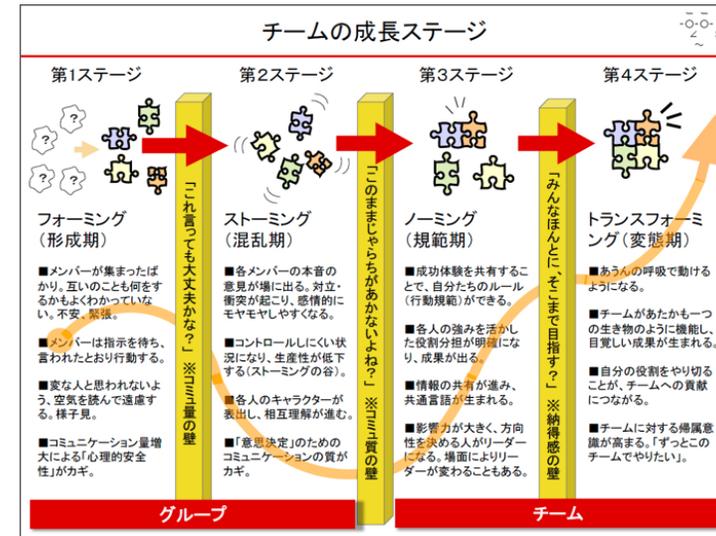
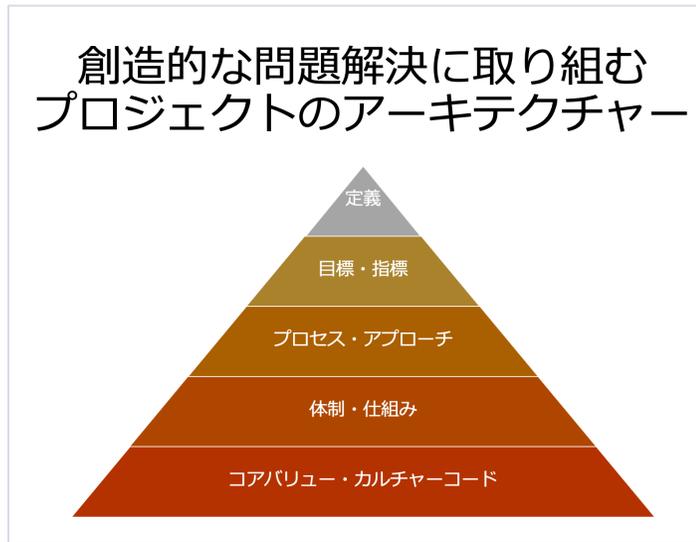
講師：加来 幸樹

株式会社サインコサイン
代表取締役 CEO

<https://www.signcosign.jp/>

「チームビルディング講座」

3/16(火) 18:30-20:00



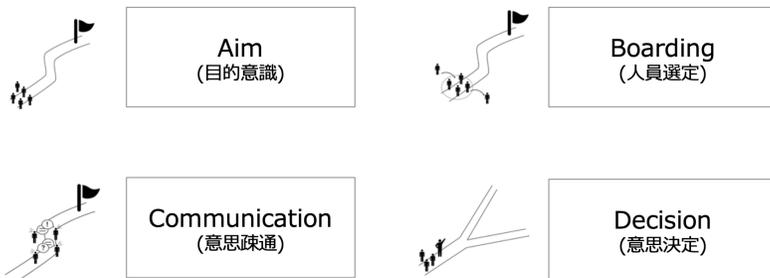
チームメンバー個々を理解し、適切な人員配置の方法、円滑な協力関係のもとに、健全な組織文化を土台にプロジェクトを推進させていくノウハウを学習します。



講師：鬼海 翔
株式会社bridge 取締役/ビジネスデザイナー
Homeal株式会社 CEO

「プロジェクトファシリテーション講座」 3/29(月) 18:30-20:00

プロジェクトデザインで肝となる4つのポイント



創造的問題解決のための“問い”と課題のデザイン

- STEP1「要件の確認」**
 - 問題解決に必要な情報を整理し、目標を設定する。
- STEP2「目標の精緻化」**
 - ビジョンを起点に、目標を段階的に整理する。
- STEP3「阻害要因の検討」**
 - 目標達成までのプロセスで起こりうる阻害要因を洗い出す。
- STEP4「目標の再設定」**
 - 阻害要因を把握し、より“しっくりくる”目標を再設定する。
- STEP5「課題の定義」**
 - 効果性・社会的意義・内発的動機を満たす適切な課題を定義する。

正しい課題定義のもとに適切な目標を掲げ、創造的な問題解決を図るプロジェクトデザイン/プロジェクトファシリテーションの手法を学習します。



講師：鈴木 郁斗

株式会社bridge 取締役/ビジネスデザイナー
株式会社メルサ・インターナショナルジャパン
代表取締役

ゲストスピーカーを招いた講演と、参加者全員による質疑応答/ディスカッションを実施します。

「ストレンクスファイターによる自分らしいリーダーシップのための自己理解」

2/17(水)19:30-21:00



講師：**土屋 恵美**

Gallupストレンクスファイター認定コーチ/株式会社ココストーリーズ代表取締役

「人は自分の弱みを改善するよりも、自分の強みに意識を向けそれを活かすことで最大の能力を発揮する」というホシディフ心理学の考え方に基つき、自己理解・他者理解を深めるための個人セッションやチームビルディングを提供する。

「個性と多様性を活かした新規事業チームのレベルアップ」

3/16(火)20:00-21:00



伊作 猛

武蔵精密工業株式会社 常務執行役員

Chief Innovation Officer、CVC Director

Western Michigan 大学卒業。武蔵精密工業株式会社入社後、18年間アメリカ駐在し主に自動車OEM向け営業を統括。2018年度より新規事業開発を担当し、社内ベンチャーの立上げ、AI事業開発に従事。イスラエル、シリコンバレー、日本における7件のベンチャー投資、VC出資等を推進実行。

人と組織に関する現状診断と健全な運営をサポートする診断ツールを活用します。



ストレングスファインダー(個々の理解とチームビルディング)

「人は自分の弱みを改善するよりも、自分の強みに意識を向けそれを活かすことで最大の能力を発揮する」という故ドン・クリフトンの考え方に基づいて開発された、米国ギャラップ社によって提供されている診断ツールです。人がもつ様々な才能をあらゆる角度から抽出し、それらを最も共通性のある性質で34の資質として分類（クラスター化）することにより、個々の資質を相互に理解し、円滑なチームビルディングを促すことに効果を及ぼします。



大長 伸行 ビジネスデザイナー

サービスデザイン

プロジェクトマネジメント

デザインファームのコンサルタントとしてデザイン思考を活用した商品開発、サービスコンセプトの構築、イノベーション人材育成といったプロジェクトをリード。

2017年1月bridgeを設立。多様な業種、組織の200を超えるデザインプロジェクトを横断し得た失敗経験を体系化し、企業内新規事業の促進、サービス開発を支援する。



鈴木 郁斗 ビジネスデザイナー

アントレプレナーシップ

グローバル

航空宇宙業界のメカニカルエンジニアを経て2009年に米国で起業。以降日米で20以上の新規事業立上に参画した経験とシリコンバレーでの事業開発ノウハウを活かし、イノベーション人材・組織開発を中心に、日本、米国、東南アジア各都市でプロジェクトを支援。昨今はイノベーションと働く人の「Well Being(幸福)」に注目し、イノベーション創発をキャリアデザインの観点から追求し実践中。



鬼海 翔 ビジネスデザイナー

組織開発

リーンスタートアップ

自動車・家電・飲料・金融等の大手企業クライアントを中心に次世代リーダー育成や組織変革のプロジェクトを推進。2016年にイントラプレナーとして社内新規事業の立ち上げ及び事業統括に就任。事業創造コンサルティング部門の責任者 兼 ビジネスデザイナーとして、約50社及び100件程の新規事業/インキュベーションを支援。2019年に“親子で一緒に食べられる幼児食宅配サービス”を展開するhomeal株式会社を創業し、フードスタートアップの起業家としても活動中。



加来 幸樹 ブランドデザイナー

マーケティング

ビジョンデザイン

株式会社サインコサイン 代表取締役 CEO

1983年福岡県生まれ。九州大学芸術工学部卒業。2006年にセプテーニに新卒入社し、デジタルマーケティングのクリエイティブ領域を中心に様々な顧客の課題解決を支援した後、2018年にサインコサインを設立。「自分の言葉で語るとき、人はいい声で話す。」を理念に掲げて、企業や個人の理念・ブランドのネーミングやタグラインなど覚悟の象徴を共に創ることで社会に貢献するべくマイペースに奮闘中。

【日時】 2021年2月17日(水)～ 2021年3月29日(月) 18:30～21:00 (期間中4回開催)

【主催】 MUSASHi Innovation Lab CLUE・株式会社bridge

【後援】 豊橋商工会議所

【会場】 オンライン(Zoom)

【定員】 25名 ※最少催行人数15名

【費用】 10万円/人 (消費税別/参考書代別)

【対象】 管理職、プロジェクトリーダー、リーダー候補者

【お申込・お支払い方法】

窓口担当または事務局へ、お気軽にお問い合わせください。

お支払いは原則全額を所定の期限までにお支払いをお願いいたします。(請求書を発行します)

【事務局お問合せ先】

MUSASHi Innovation Lab CLUE/武蔵精密工業株式会社

愛知県豊橋市駅前大通1丁目135 COCOLA AVENUE 3F Innovation Lab CLUE

担当：鈴木 080-7990-8468 E-mail : taka_suzuki@musashi.co.jp



本プログラムは、組織変革を目指す同志が社内にいることで効果が最大化します。そのため1社2名以上でのご参加を推奨しております。1社で複数名のご参加を希望される場合は、ご要望にアレンジしたうえで別途個別にプログラムをご提供いたしますのでご相談ください。

参加者の皆様には、参考書籍「さあ、才能に目覚めよう(新版)」(トム・ラス著/古屋博子訳)のご購入と、本書に付帯しているストレンプスファインダー2.0のウェブテストアクセスコードからストレンプスファインダー診断の事前受講をお願い致します。

Amazon URL : <https://www.amazon.co.jp/dp/4532321433>



クリフトン・ストレンプス・ファインダーの開発者。
アメリカ心理学会より「強みの心理学の父」として
表彰される。



ドナルド・O・クリフトン(1924~2003年)

1998年、クリフトン博士によって<ストレンプス・ファインダー>のアセスメントと34の資質が生み出された。博士の40年に及ぶ調査・研究に根差し、2004年には開発者に敬意を表して<クリフトン・ストレンプス・ファインダー>と改称されたこのアセスメントによって、世界中で数百万人の人々が自らの資質を発見し、才能を開花させている。

【目次】

第I部 まず、あなたの強みを見つけよう

「いばらの道」を選ぶな/ あなたは「強みのゾーン」にいるか/ 「才能」を「強み」にする/ 才能は、あなたに見出されるのを待っている/ <ストレンプス・ファインダー> を受ける

第II部 あなたの強みを活用しよう——34の資質と行動アイデア

アレンジ/ 運命思考/ 回復志向/ 学習欲/ 活発性/ 共感性/ 競争性/ 規律性/ 原点思考/ 公平性/ 個別化/ コミュニケーション/ 最上志向/ 自我/ 自己確信/ 社交性/ 収集心/ 指令性/ 慎重さ/ 信念/ 親密性/ 成長促進/ 責任感/ 戦略性/ 達成欲/ 着想/ 調和性/ 適応性/ 内省/ 分析思考/ 包含/ ポジティブ/ 未来志向/ 目標志向

(34の資質についてそれぞれの定義、その資質を持つ人たちの声、行動アイデア、その資質が高い人の活かし方=一緒に働くときのコツを紹介)

株式会社bridge (bridge Inc)

設立

2017年1月

資本金

3,000,000円

☒所在地

160-0022 東京都新宿区新宿5-10-1
第2スカイビル9F [studio bridge]



代表者

大長 伸行

事業内容

☒- 事業創出コンサルティング

- サービスデザイン

- イノベーション組織開発・人材育成

Panasonic

ビザスク

SoftBank

FINOLAB



ADVANTEST



DENSO

Seibu Holdings

MUSASHI

FUJIFILM

HISEIDO

MISUMI

maNara

Work Happ(ness)

TOYOTA TSUSHO



ココナラ

maxell
Within, the Future

株式会社長沢製作所
NAGASAWA MANUFACTURING CO.,LTD.

TOYOTA

Marubeni

ITOKI

DUSKIN

その他、シリコンバレーでのイノベーションリーダーシップ育成プログラム、東南アジアでのサービスデザインプリントなど、グローバルネットワークを使ったプロジェクトも多数展開しています。詳細については下記メールアドレス、もしくはホームページからお気軽にお問い合わせください。

MAIL hello@bridgedesigners.com

HP www.bridgedesigners.com/